

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名     |    | 放課後等デイサービスぶらう  |    |     |   | 公表日   | 2025年 3月 5日 |
|----------|----|--|----|-----|---|---|-------------|
|          |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点   |             |
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 5  | 0   |   |   |             |
|          | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 5  | 0   |   | 基準は満たしているが、あともう1人いるとより良く活動できると思う。                 |             |
|          | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 5  | 0   | 活動内容によって分かれて取り組めるようにしたり、余計な情報に気が散ることのないよう環境を整えている。                          | 現在は必要とする利用者がいないため、今後の利用者によってはバリアフリー化が必要だと考える。     |             |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 5  | 0   |   |   |             |
|          | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 5  | 0   | 子どもの状態や全体の状況に合わせて部屋を分けることができている。本人からの申し出や職員からの提案で、別室対応が出来るようになっていく。         |   |             |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 3  | 2   | 期限を設定し、意識して取り組むようにしている。   | また不十分な部分があるので、さらに取り組んでいく。                         |             |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 5  | 0   | 評価表を基にした検討会をおこない、業務改善に努めている。  |   |             |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 5  | 0   | 定期的に会議を開催し、職員の意見を抽出している。  |   |             |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 0  | 5   |   | 今後検討していく。   |             |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 5  | 0   |   |   |             |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 5  | 0   |   |   |             |
|          | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 5  | 0   |   |   |             |
|          | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 5  | 0   |   |   |             |
|          | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 5  | 0   |   |   |             |
|          | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 5  | 0   |   | こどもの適応行動の状況の確認は日々行っているが、標準化したアセスメントツールの使用は検討中である。 |             |
|          | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4  | 1   | 連絡帳やメールで相談を受けて、送迎時に家族へのアドバイスを実施している。<br>外部からのイベントや講演会のお知らせの情報を提供し、参加を促している。 | 実際に行っている支援を、放課後等デイサービスの計画にも反映させていく。               |             |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 5  | 0   |   |   |             |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 5  | 0   | 平日の活動は時間が短いため決まったパターンになる事もあるが、長期休みなどで工夫をしている。                               | 平日も使用できるプログラムを検討推進中。                              |             |

|              |  |  |   |                                  |  |                                 |
|--------------|--|--|---|----------------------------------|--|---------------------------------|
| 供            | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | 5 | 0                                |  |                                 |
|              | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 4 | 1                                | 利用者の送迎や対応で参加できない職員がいる場合もあるが、必要な打ち合わせを行い、確認・共有・連携を行っている。        | 参加できなかった職員に対して、迅速な漏れのない情報共有を行う。 |
|              | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 4 | 1                                | 送迎の関係で、その日中に出来ない場合は翌日に共有している。連絡帳や支援記録を記入確認をしながら、振り返りや共有を行っている。 | 参加できなかった職員に対して、迅速な漏れのない情報共有を行う。 |
|              | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 5 | 0                                |  |                                 |
|              | 23   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 5 | 0                                |  |                                 |
|              | 24   | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | 5 | 0                                |  |                                 |
| 関係機関や保護者との連携 | 25   | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 5 | 0                                | 子どもが自分で考えて選択できる機会を設けている。                                       |                                 |
|              | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 5 | 0                                | 児発管の他にそのこどもの状況を熟知した職員が参画している。                                  |                                 |
|              | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 5 | 0                                |  |                                 |
|              | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 5 | 0                                |  |                                 |
|              | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 5 | 0                                | 保護者からも情報提供があり共有されている。  |                                 |
|              | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 5 | 0                                | 相談支援事業所を通じて行っている。  |                                 |
|              | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | 2 | 3                                |  | 今後は連携を図っていく。                    |
|              | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | 1 | 4                                |  | 長期休みの活動に取り入れる。                  |
|              | 33   | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 4 | 1                                | 支援時間との関係で調整が難しいが可能な限り参加している。                                   |                                 |
|              | 34   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 5 | 0                                |  |                                 |
| 35           | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5  | 0 | ペアトレは行っていないが、通信のコラムや保護者会等で行っている。 |  |                                 |
|              | 36   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 5 | 0                                |  |                                 |
|              | 37   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | 0                                | アンケートやメールによって家族の意向を確認している。                                     |                                 |
|              | 38   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 5 | 0                                |  |                                 |
|              | 39   | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                      | 5 | 0                                | 面談の他、電話やメール、連絡帳や送迎の際などにも行っている。                                 |                                 |

|          |  |  |   |   |   |                          |
|----------|--|--|---|---|---|--------------------------|
| 保護者への説明等 | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 5 | 0 | 保護者会は年2回7月と11月に行っている。                     | 兄弟姉妹同士の交流は検討中。           |
|          | 41   | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 5 | 0 | 特に初期対応について迅速かつ丁寧に行い、適切に対応している。            |                          |
|          | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   | 5 | 0 | 毎月1回ぶらう通信を発行している。                         |                          |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 5 | 0 | 個人情報の扱いについて承諾書をいただいて対応するとともに、扱いにも気をつけている。 |                          |
|          | 44   | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 5 | 0 |   |                          |
|          | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 0 | 5 |   | 企画を練る等、検討中である。           |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 5 | 0 |   | 保護者への周知は徹底していく予定。        |
|          | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 4 | 1 | 防災週間を設けて多様な訓練を行っている。                      | BCPは内容をより充実させたい。         |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。  | 5 | 0 |   |                          |
|          | 49   | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 5 | 0 | 医師の指導のもと、保護者と緊密に連携し、自己の内容に留意している。         |                          |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 4 | 1 |   | 安全管理の職員の研修等を行っていく。       |
|          | 51   | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 3 | 2 |   | 災害時の避難場所等について、家族への周知を行う。 |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 5 | 0 |   |                          |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 5 | 0 | 毎月虐待防止・身体拘束適正化委員会を開くとともに研修を行っている。         |                          |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5  | 0 |   |   |                          |